

2011年の3.11から丸8年目を迎えようとしています。各地に頻発する自然災害の持つ威力に抗えない人間の小ささを嫌と言うほど感じさせられる昨今ですが、同時に災害に対する私達の感覚が少々鈍くなってきていることも否めない事実ではないでしょうか？災害に限られたわけではありませんが、目で見える壊れた傷跡が修復され始めると「風化」が始まります。悲しい出来事であっても忘れないからこそ積み上げてきた時が豊かな実りをもたらし、忘れるからこそくぐって来た時が癒しを与えるのではないかと思うのですが。

さて、「ふくしま通信」も2013年12月発行のつなかりに第1号としてページを頂き、活動報告の一環としてキャンプの報告はもちろんのこと現地の状況を神戸の視線で捉えた報告や、また現地に暮らす方々からの報告などをお伝えして来ましたが、今回、地区評議会で行われている様々な取り組みの見直し対象の一つとして“ふっこうのかけ橋”が上がり、「いつまで続けるのか」と言うご質問を頂きました。実行委員会（2018年度）でも昨年この件が話し合わせ、10年目（2021年）をひとつの区切りとしてこの取り組みによる検証が出来ればと考えています。

1.17が国の内外からの大きな支援によって現在があるように3.11も福島だけの問題ではなく原発国日本で暮らす私達自身の問題として捉え、「平和旬間」での報告会や現地で支援活動する方々を招いての学習会なども開催しながら毎年保養プログラムを継続してきました。

その中では神戸地区の子ども達との出会いがあり単体では教会学校のキャンプがままならない小教区でも合同キャンプやデイキャンプが実現しています。また毎年前後泊でお世話になっている「住吉」「たかとり」、小教区キャンプで受け入れてくださっている「北須磨」、ボランティアとして参加する「六甲学院」の生徒や「海星女子大学」の学生たち、登山や水泳の先遣隊としての「垂水」、そして言うまでもなく直接寝食を共にするリーダーたちそれぞれがその出会いを通して関わることの喜びと気づきの恵みを頂いています。福島からの交通費が一番大きな経費となり、小教区の皆さんには募金の形で多大な協力をお願いしていますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。また今回、東京で福島支援を継続されているグループから支援先の一つとして“ふっこうのかけ橋”が選ばれました。詳しくは各小教区にチラシを送らせて頂きましたので、そちらをご覧ください。



東日本大震災8年
ミホプロジェクト祈りのコンサート
ひまわりの丘
福島の子どもたちとともに

2019年3月11日<月>

昼の部 14:30～[開場14:00]
小栗献牧師のメッセージ/14:46の黙祷
70分のコンサート

夜の部 19:00～[開場18:30]
90分のコンサート

日本基督教団 神戸聖愛教会
神戸市中央区生山町1-1-27 〒651-0092
新神戸駅より徒歩3分/三宮駅からバス2系統「布引」下車

前売2,000円/当日2,500円
中高生1,000円/小学生以下無料

コンサートの収益は福島の子どもたちのために使われます
全席自由

【予約・問合せ】
ジョイントチーム tel. 090-1678-0609<木田>
ミホプロジェクト tel. 03-6317-8916<ベアータ>
e-mail: mihomihoproject@gmail.com
カトリック社会活動神戸センター
tel. 078-271-3248